

# G I G Aスクール構想の実現に向けて準備を進めています！

大洲市では、GIGAスクール構想の実現に向け、市内在籍の全ての児童・生徒に一人一台のタブレット端末を配備します。同時に学校内のインターネット環境を整え、一人一人の個性に合わせた創造性を育む教育を実現するため準備を進めています。4回シリーズで取組の概要をお知らせします。

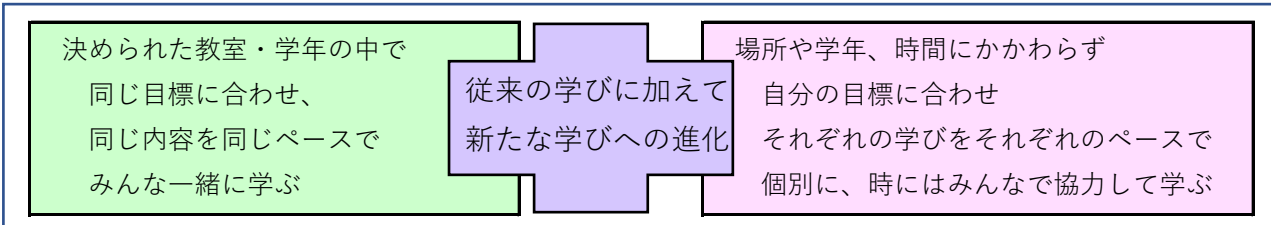
## 【GIGAスクール構想とは】

文部科学省が推進する「多様な子供たちに最適化された創造性を育む教育」をICTを活用して実現する取組です。

**Global and Innovation Gateway for All**の頭文字をとって「G I G A」です。直訳すると「全ての人に地球規模（国際的）で革新的な入口を」となり、「全ての子供たちが、国や地域の制約を受けずに社会に新しい価値を生み出せる人材になるための教育」という意味です。

【目指すのはICTを道具として活用した学び】 Information and **C**ommunication **T**echnology（情報通信技術）

これまでの教育実践の蓄積 × ICT = **学習活動の一層充実**  
**主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善**



A 一斉学習	B 個別学習		C 協働学習	
<b>A1 教員による教材の提示</b>  画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用	<b>B1 個に応じる学習</b>  一人一人の習熟の程度等に応じた学習	<b>B2 調査活動</b>  インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録	<b>C1 発表や話し合い</b>  グループや学級全体での発表・話し合い	<b>C2 協働での意見整理</b>  複数の意見・考えを議論して整理
<b>B3 思考を深める学習</b>  シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習	<b>B4 表現・制作</b>  マルチメディアを用いた資料、作品の制作	<b>B5 家庭学習</b>  情報端末の持ち帰りによる家庭学習	<b>C3 協働制作</b>  グループでの分担、協働による作品の制作	<b>C4 学校の壁を越えた学習</b>  遠隔地や海外の学校等との交流授業

※「学びのイノベーション事業」実践研究報告書(平成26年)より

これらのICT環境をうまく活用して、主体的・対話的で深い学びを実現し、予測困難な時代をたくましく生き抜く子供たちの育成を目指します。

※ 今回は、導入するハードウェアやソフトウェアの紹介をいたします。